

平成22年度

全国学力・学習状況調査
分析結果

泉佐野市教育委員会
平成22年11月

はじめに

文部科学省は、「全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る」ことなどを目的として平成19年度より小学校6年生児童、中学校3年生生徒を対象に「全国・学力学習状況調査」を実施しています。この調査では「各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育結果を把握し、改善を図る」ことも目的のひとつとされています。平成19年度調査結果については、本市においては、教育委員会が市全体の、各学校がそれぞれの学校の調査結果を分析し、具体的な施策や取り組みに生かすとともに、平成20年度及び平成21年度の調査結果の取り扱いにつきましては、教育委員会議での議論をかさね、保護者、市民の皆さまに本市の児童生徒の状況をより具体的に示し、教育への理解と関心をもっていただくため、調査結果を公表いたしました。

さて、平成22年度の調査方法が、これまでの小学校6年生と中学校3年生の全児童生徒を対象とする悉皆調査から、文部科学省が抽出した学校のみが実施する抽出調査に変更されました。

しかし、本市では、抽出校だけではなく、それ以外の学校も含め全小中学校が本調査に参加し、この度、これまでと同様に、調査結果を公表することといたしました。

また、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎない、ということをご理解いただくようお願いいたします。

なお、「泉佐野市学力向上プロジェクトチーム」が提案しました「いずみさの教育文化運動」も2年目をむかえ、平成22年2月には、「教育フォーラム」を開催し、これまでの取組の一端を発表させていただきました。また、本市が独自に配置しました「学力支援コーディネーター」も市域全体の学力向上に向け、活動を進めておりますことを申し添えます。

今後とも、教育行政ならびに学校のさまざまな教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成22年11月

泉佐野市教育委員会
委員長 赤木 攻

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称

「平成22年度全国学力・学習状況調査」

3. 調査の対象

- 小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒

4. 調査の内容

- 小学校6年（国語、算数）、中学校3年（国語、数学）
- 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する調査（以下「A区分問題」という。）
 - ◇身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
 - ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など
 - ・主として「活用」に関する調査（以下「B区分問題」という。）
 - ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
 - ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
 - ・学校に対する調査
 - 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

小 学 校

(平成22年4月20日実施 1141名参加)

国語に関する分析
算数に関する分析
児童質問紙の分析
学校質問紙の分析

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 問題数は15問。正答数分布は、全国と同様15問を頂点とした右よりの山型を描いている。
- ・ 昨年までと比較し下位層の割合が減少し、平均正答率の全国との差は縮まっている。
平均正答率（本市 82.4／府 81.9／全国 83.3）

「B区分問題」

- ・ 問題数は10問。正答数分布は、全国と同様10問を頂点とした右よりの山型を描いているが、全国と比べ上位層が少ない。
- ・ 昨年までと比較し下位層の割合が減少し、平均正答率の全国との差はやや広がった。
平均正答率（本市 72.0／府 75.8／全国 77.8）

2. 学力状況調査より（本市正答率/全国正答率）

国語A	課題等がみられた設問	
<p>【書くこと】</p> <p>○文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことは概ねできているが、自分の考えが明確になるように、文章全体の構成の効果を考えて書くことにやや課題がある。</p> <p>4 メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書くことができる（62.8/60.3）</p> <p>5 意見文に書く内容をまとめた4枚のカードを構成した順番に並べ替えることができる。（70.7/75.0）</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読むことは概ねできているが、説明的な文章の内容を的確に押さえながら読むことにやや課題がある。</p> <p>2 説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択することができる。（79.8/83.3）</p> <p>3 物語の登場人物の関係をとらえて書くことができる。（67.2/65.0）</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○前学年までに配当されている漢字を読むこと、書くことは概ねできているが、出題された漢字によって正答率に差がある。</p> <p>1ニ（2）<u>ぎじゅつ</u>が<u>進歩</u>する。（→技術） （78.2/74.7）</p> <p>1ニ（3）星の位置が<u>へんか</u>する。（→変化） （87.4/90.3）</p> <p>○語句の構成や語形の変化を理解することは概ねできている。</p> <p>9ア 二つの言葉を組み合わせて、一つの言葉にして書くことができる。（95.6/95.3）</p> <p>9イ 一つの言葉を二つの言葉に分けて書くことができる。（92.0/91.6）</p> <p>○文脈に適した多義語の意味を理解することに課題がある。</p> <p>8 国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切なものを選択することができる。（76.3/81.4）</p>	

国語B	課題等がみられた設問	
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○目的や意図に応じて、聞き手を引き付けるように話すことや、話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問することに課題がある。</p> <p>3ニ 話し手が聞き手に問いかけるよさについての説明を書くことができる。（63.8/73.0）</p> <p>3三 聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択することができる。（64.9/69.9）</p> <p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることは概ねできている。</p> <p>1ア 学校新聞に対する二つの意見の共通点を書くことができる。（91.0/93.7）</p> <p>1イ 学校新聞に対する二つの意見の相違点を書くことができる。（86.3/89.5）</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書くことに課題がある。</p> <p>2一（1） 物語を読んで、指示された部分についてあらすじを書くことができる。（62.1/73.0）</p> <p>○物語を読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書くことに課題がある。</p> <p>2ニ 物語を読んで思ったことや考えたことと、その理由を書くことができる。（68.1/82.3）</p> <p>○目的や意図に応じて、必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明することに課題がある。</p> <p>4 三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書くことができる。（58.4/65.5）</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10P 5P△	差
国語の勉強は好きですか	58.6	62.1 (府 60.8)		3.5
国語の勉強は大切だと思いますか	87.5	91.6 (府 88.9)		4.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.7	82.3 (府 80.4)		3.6
読書は好きですか	66.7	73.0 (府 69.1)	△	6.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.2	87.3 (府 84.0)	△	5.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	47.4	60.1 (府 50.6)	○	12.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	47.1	58.6 (府 51.8)	○	11.5
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	59.3	69.2 (府 63.6)	△	9.9
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	67.2	73.4 (府 70.0)	△	6.2
国語B-2の問題にあるような、長い文章を読むのは難しかったですか	44.3	38.7 (府 40.8)	△	5.6
解答を文章で書く問題について、最後まで書こうと努力しましたか	66.8	72.6 (府 71.3)	△	5.8
解答時間は十分でしたか（国語A）	63.7	64.0 (府 61.8)		0.3
解答時間は十分でしたか（国語B）	50.9	48.7 (府 49.1)		2.2

- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていると感じている児童が半数以下（47.4%）であることは課題である。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していると感じている児童が半数以下（47.1%）であることは課題である。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率（％）	正答率（％）	正答率（％）
1ー（1）	漢字を読む（新しいクラスに慣れる）	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む	97.6	96.5	96.2
1ー（2）	漢字を読む（本の目次を見る）		94.7	94.8	96.0
1ー（3）	漢字を読む（いつも清潔なハンカチを持つ）		96.6	96.3	96.5
1二（1）	漢字を書く（ひさしぶりにおじさんに会う）	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く	79.7	79.6	80.1
1二（2）	漢字を書く（ぎじゅつが進歩する）		78.2	72.1	74.7
1二（3）	漢字を書く（星の位置がへんかする）		87.4	90.8	90.3
2	説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する	説明的な文章の内容を的確に押さえながら読む	79.8	81.3	83.3
3	物語の登場人物の関係をとらえて書く	文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読む	67.2	63.3	65.0
4	メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く	文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く	62.8	59.7	60.3
5	意見文に書く内容をまとめた4枚のカードを構成した順番に並べ替える	自分の考えが明確になるように、文章全体の構成の効果を考えて書く	70.7	72.7	75.0
6	見学したことの説明の工夫として適切なものを選択する	聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫する	79.8	79.2	83.2
7	国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切なものを選択する	文脈に適した多義語の意味を理解する	76.3	80.0	81.4
8	共通語と方言の使われ方として適切なものをそれぞれ選択する	共通語と方言との違いを押さえ、それぞれの使われ方を理解する	77.0	77.2	81.0
9ア	二つの言葉を組み合わせて、一つの言葉にして書く	語句の構成や語形の変化を理解する	95.6	94.7	95.3
9イ	一つの言葉を二つの言葉に分けて書く		92.0	90.1	91.6

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1ア	学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く	目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりする	91.0	93.0	93.7
1イ	学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く		86.3	88.1	89.5
2一(1)	物語を読んで、指示された部分についてのあらすじを書く	登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書く	62.1	70.9	73.0
2一(2)	物語を読んで、発表した内容の中に入る適切な言葉を選択する	物語全体の構成の効果をとらえる	71.9	72.8	72.9
2二	物語を読んで思ったことや考えたことと、その理由を書く	物語を読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書く	68.1	79.5	82.3
3一①	発表の中で写真を示す場面として適切な箇所を選択する	伝えたいことと資料とを関係付け、資料を効果的に提示して話す	78.8	79.6	80.7
3一②			74.3	75.5	77.9
3二	話し手が聞き手に問いかけるよさについての説明を書く	目的や意図に応じて、聞き手を引き付けるように話す	63.8	69.8	73.0
3三	聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する	話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問する	64.9	66.7	69.9
4	三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く	目的や意図に応じて、必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明する	58.4	62.6	65.5

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 全国と同程度の正答率があった。
- ・ 分布については、全国に対して上位層がやや少なく、中位層がやや多くなっている。
平均正答率（本市 72.2／府 74.7／全国 74.2）

「B区分問題」

- ・ 全国と同程度の正答率があった。
- ・ 分布については、全国に比べるとやや左に偏りがある。
平均正答率（本市 45.9／府 48.1／全国 49.3）

2. 学力状況調査より（本市正答率／全国正答率）

算数A	課題等がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○商が1より小さくなる等分除の問題で、除法を用いることへの理解について課題がある。</p> <p>2(1) 8mの重さが4kgの棒の重さを求める式と答えを書く。(50.6／53.8)</p> <p>○等分してできる分量や部分の大きさを分数で表すことへの理解に課題がある。</p> <p>2(2) 2ℓのジュースを3等分したときの1つ分量を分数で表す。(37.8／40.2)</p> <p>3 長方形の黒い部分を表す分数を選ぶ。(61.8／68.6)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○円を分割し、並び替えて作った長方形の横の長さについての理解に課題がある。</p> <p>4(2) 円を分割して並べたときにできる長方形について、横の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ。(53.8／55.3)</p>	<p>○図形の一部を移動して形の異なる図形に変形した場合に、面積が変わらないことへの理解に課題がある。</p> <p>8(1) 長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の面積が、元の長方形の面積と比べてどれだけの大きさになるかを選ぶ。(76.8／82.2)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○割合の意味理解に課題がある。</p> <p>9(1) じゃがいも畑の面積40㎡が、学校の畑の面積50㎡のどれだけの割合に当たるかを書く。(54.7／57.4)</p>

算数B	課題等がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された式を解釈し、鉛筆1本の定価が整数になるおつりの金額を判断することに課題がある。</p> <p>1(1)鉛筆1本の定価を整数にするために、おつりの金額を何円に変えればよいかを選ぶ。 (54.2/55.8)</p> <p>【図形】</p> <p>○平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に長方形の大きさを考え、それを記述する事に課題がある。</p> <p>2(1)本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く。 (25.9/31.7)</p> <p>○与えられた条件や図形の定義、性質を基に、図形を判断し、その理由を選択することに課題がある。</p> <p>6(1)バスのドアの下にできる三角形について、その名前を選び、判断のわけを選ぶ。 (59.3/64.8)</p> <p>○示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。</p> <p>6(2)バスのドアが動く様子を表した図を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く。 (12.9/14.6)</p> <p>【量と測定・図形】</p> <p>○平行四辺形に対してなされた説明を解釈し、それを台形に適用して、説明を記述することに課題がある。</p> <p>4 平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く。 (26.1/33.3)</p>	<p>【数量関係】</p> <p>○計算の順序についてのきまりを理解し、最初に考えた式に()を書き加えて正しい式に修正することに課題がある。</p> <p>1(2)おつりを正しく求められるように式に()を書き加える。 (37.7/42.2)</p> <p>○二次元表の中の数が表す事柄を2つの項目と単位に着目して読み取り、その内容を記述することに課題がある。</p> <p>3(2)二次元表の中の数が何を意味しているのかを書く。 (55.4/61.4)</p> <p>○二次元表に示された数の意味を考え、円グラフと関連付けることに課題がある。</p> <p>3(3)二次元表の一部分の数を使ってかくことのできる円グラフを選ぶ。 (34.5/40.0)</p> <p>○割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなるときの基準量を判断し、その理由を記述することに課題がある。</p> <p>5(2)割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く。 (17.4/17.1)</p>

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10P 5P△	差
算数の勉強は好きですか	60.0	63.8 (府 60.4)		3.8
算数の勉強は大切だと思いますか	89.3	92.1 (府 90.4)		2.8
算数の授業の内容はよく分かりますか	76.5	78.0 (府 77.0)		1.5
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	76.1	78.2 (府 76.7)		2.1
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	73.4	77.3 (府 75.6)		3.9
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	59.5	64.6 (府 59.0)	△	5.1
算数で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	84.2	89.0 (府 87.4)		4.8
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか	77.5	78.9 (府 77.6)		1.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	73.2	79.7 (府 76.5)	△	6.5
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	73.6	80.8 (府 75.4)	△	7.2
すべての書く問題で、最後まで解答を書こうと努力しましたか	54.7	62.0 (府60.6)	△	7.3
解答時間は十分でしたか（算数A）	85.5	87.1 (府 84.9)		1.6
解答時間は十分でしたか（算数B）	64.4	61.8 (府 61.6)		2.6

- 学習状況調査の中で、全国との差が5P以上あるものが13項目のうち4項目あった。
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
 算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか
 すべての書く問題で、最後まで解答を書こうと努力しましたか
 上記の項目は全国とやや差があり課題である。「生活の中での活用」「わけの理解」「ノートの整理」については、今後とも指導を徹底する必要がある。そのことが、「書く問題で最後まで解答を書く努力」をするポイントを上げることに繋がる。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率（％）	正答率（％）	正答率（％）
1（1）	243-65 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	87.2	88.6	86.9
1（2）	27×3.4 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	84.0	84.9	84.3
1（3）	912÷4 を計算する	除法の計算をすることができる	89.9	91.1	89.6
1（4）	8-0.5 を計算する	小数の減法の計算をすることができる	81.0	83.9	83.2
1（5）	6÷5 の商を小数で表す	商が小数になる除法の計算をすることができる	86.2	87.2	86.0
1（6）	50+150×2 を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	64.2	67.3	65.9
2（1）	8mの重さが4kgの棒の1mの重さを求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、除法が用いられることを理解している	50.6	53.8	53.8
2（2）	2ℓのジュースを3等分したときの1つ分の量を分数で表す	数量を等分したときの1つ分を分数で表すことができることを理解している	37.8	38.1	40.2
3	長方形の黒い部分を表す分数を選ぶ	等分してできる部分の大きさを表すのに分数が用いられることを理解している	61.8	69.3	68.6
4（1）	円を分割して並べたときにできる長方形について、縦の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ	円を分割し、並べ替えて作った長方形の縦の長さについて理解している	76.2	79.9	80.1
4（2）	円を分割して並べたときにできる長方形について、横の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ	円を分割し、並べ替えて作った長方形の横の長さについて理解している	53.8	58.7	55.3
5（1）	三角定規が示された場面で、60°の補角の大きさを求める	補角の大きさを求めることができる	81.7	84.9	82.7
5（2）	上底3cm、下底7cm、高さ4cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解し、面積を求めることができる	72.6	71.2	70.1
6	立方体の展開図をかく場面で、5つの面が示されたとき、残りの1つの面をかく場所を選ぶ	立方体を展開図から構成できる	86.8	87.2	88.3
7	方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ	平行四辺形の定義や性質について理解している	73.1	76.6	76.1
8（1）	長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の面積が、元の長方形の面積と比べてどれだけ大きくなるかを選ぶ	図形の一部を移動して形の異なる図形に変形した場合に、面積が変わらないことを理解している	76.8	83.3	82.2
8（2）	長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の名前を選ぶ	二等辺三角形の定義や性質を理解している	80.6	83.7	84.7
9（1）	じゃがいも畑の面積40㎡が、学校の畑の面積50㎡のどれだけの割合に当たるかを書く	割合の意味を理解している	54.7	57.0	57.4
9（2）	折れ線グラフを読み、気温の上がり方が最も大きい時間を書く	折れ線グラフから、増え方が最も大きい区間を読み取ることができる	72.4	72.1	73.8

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1(1)	えんぴつ1本の定価を整数にするために、おつりの金額を何円に変えればよいかを選ぶ	示された式を解釈し、えんぴつ1本の定価が整数になるおつりの金額を判断できる	54.2	55.4	55.8
1(2)	おつりを正しく求められるように式に()を書き加える	計算の順序についてのきまりを理解し、最初に考えた式に()を書き加えて正しい式に修正できる	37.7	41.5	42.2
2(1)	本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く	平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に長方形の大きさを考え、それを記述できる	25.9	29.5	31.7
2(2)	示された部品を組み立てて、作ることができる本立てを2つ選ぶ	示された平面図形を基に台形の大きさを考え、平面上にかかれた立体図形と対応付けることができる	63.2	65.6	65.6
3(1)	3つの円グラフを見て、けがが最も多く起こった場所を書く	示された3つの円グラフから目的に合うものを選び、必要な情報を読み取ることができる	95.4	94.8	95.9
3(2)	二次元表の中の数が何を意味しているのかを書く	二次元表の中の数が表す事柄を2つの項目と単位に着目して読み取り、その内容を記述できる	55.4	54.9	61.4
3(3)	二次元表の一部分の数を使ってかくことのできる円グラフを選ぶ	二次元表に示された数の意味を考え、円グラフと関連付けることができる	34.5	39.4	40.0
4	平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く	平行四辺形に対してなされた説明を解釈し、それを台形に適用して、説明を記述できる	26.1	29.5	33.3
5(1)	定価1000円の図に対して、定価の30%引き後の値段を表している図を選ぶ	基準量と比較量の関係を表している図を判断できる	68.9	68.1	69.0
5(2)	割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く	割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなるときの基準量を判断し、その理由を記述できる	17.4	19.1	17.1
6(1)	バスのドアの下にできる三角形について、その名前を選び、判断のわけを選ぶ	与えられた条件や図形の定義、性質を基に、図形を判断し、その理由を選択できる	59.3	64.0	64.8
6(2)	バスのドアが動く様子を表した図を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く	示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その判断の理由を記述できる	12.9	15.0	14.6

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校児童質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（63問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかと言えば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（14問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国・府と比較している。下記の表には全国と比較して5P以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10P以上の差のあるものを示している。（*泉佐野市の表中●は正答率と関係がある。）

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	大阪府	泉佐野市 <泉佐野市P/全国P> (府P)
【家庭生活の様子】	<p>毎日朝食を食べている児童の割合は、全国状況を下回っている。</p> <p>起床時刻・就寝時刻は全国状況に比べ遅い。しかし、午後10時まで寝る児童の割合がわずかに増加傾向にある。</p> <p>準備物の確認をしている児童の割合は、全国状況を下回っている。</p> <p>携帯電話で通話、メールをする児童の割合は、全国状況を大きく上回っている。</p>	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <68.5/75.5> (70.1)</p> <p>○自分には、よいところがあると思う。 <68.8/74.4> (70.7)</p> <p>○普段、7時までに起きる。<u><63.1/77.1> (53.1)</u></p> <p>○午後11時以降に寝る。<u><25.5/16.1> (25.7)</u></p> <p>○携帯電話を持っていない。<u><59.0/70.0> (62.0)</u></p> <p>○携帯電話で通話やメールをしている。 <33.9/23.1> (31.8)</p> <p>○普段、1日あたり4時間以上テレビ・ビデオ・DVDを観る。 <29.5/22.8> (26.3)</p> <p>●新聞やテレビのニュースなどに関心がある。 <61.9/66.9> (60.8)</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加している。 <47.5/61.6> (50.0)</p> <p>○近所の人に会ったときは、あいさつをしている。 <84.4/89.9> (86.7)</p>
【家庭学習の様子】	<p>学校の宿題をきちんとする児童の割合は、全国状況を上回っている。</p> <p>学校の授業の復習をしている児童の割合は、全国状況を下回っている。</p> <p>自主的・計画的に家庭学習に取り組んでいる割合は、全国状況を下回っている。</p> <p>休日に家庭学習をしない児童の割合は、全国状況を上回っている。</p> <p>普段、家庭学習に2時間以上取り組んでいる児童の割合と全く取組まない児童の割合が全国状況を上回っている。</p> <p>通塾率は全国状況を上回っている。</p>	<p>●学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上勉強をしている。 <31.2/25.7> (27.2)</p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしている。 <54.4/47.2> (50.1)</p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日、全く勉強をしない。 <21.3/11.2> (20.9)</p> <p>○家や図書館で、普段（月～金曜日）、全く読書をしない。 <31.1/20.7> (27.0)</p> <p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へほとんど、または全く行かない。 <38.7/29.4> (36.0)</p> <p>●家で計画を立てて勉強をしている。 <46.5/58.3> (50.7)</p> <p>●家で学校の予習をしている。<u><34.8/40.4> (33.6)</u></p> <p>●家で学校の復習をしている。<u><37.9/49.6> (37.5)</u></p> <p>●家で苦手な教科の勉強をしている。 <41.1/49.9> (41.7)</p> <p>○家でテストで間違えた問題について、勉強している。 <42.0/51.8> (44.2)</p>

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校質問紙

回答項目が3項以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出している。

（例）1.よく行った 2.どちらかといえば、行った を肯定的な回答ととらえた。

学習規律について・・・昨年よりやや改善されているが、まだまだ課題がある。 また、学力との関連も深いと考えられる。			
質問事項	泉佐野市	大阪府	全国
熱意を持って勉強していると思う	76.9%	87.4%	92.2%
授業中の私語が少なく落ち着いていると思う	84.6%	85.2%	90.5%
学習規律の維持を徹底している	100.0%	94.8%	97.2%
礼儀正しいと思う	69.2%	81.5%	87.5%
学校や地域であいさつするよう指導している	100.0%	99.3%	99.4%

生活について・・・課題があると考えられるが、本市だけではなく大阪府の課題でもあると考えられる。			
質問事項	泉佐野市	大阪府	全国
第6学年の児童のうち、就学援助を受けている児童の割合が10%以上である	77.0%	77.8%	45.5%

学習環境について・・・普通教室へのLAN整備の完了後、ICT活用の充実が望まれる。			
質問事項	泉佐野市	大阪府	全国
「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている (週に1回以上、定期的)	92.3%	79.2%	89.4%
長期休業中を利用した補充的な学習サポートを実施している	61.6%	63.0%	58.6%
発言や活動の時間を確保して授業を進めている	92.3%	97.0%	97.2%
国語の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	15.4%	37.8%	38.2%
算数の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	15.4%	33.3%	25.7%
国語の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている	61.5%	77.8%	75.7%
算数の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている	61.5%	72.6%	68.7%

学習状況調査の結果について・・・分析は行っているが、それが授業の中で十分活用されているとはいえない。			
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
結果を分析し、指導計画に反映させた	92.3%	96.3%	92.4%
結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した	92.3%	94.1%	93.9%
学習状況調査の自校の結果を学校全体で活用した	84.6%	87.4%	85.0%
学習状況調査の調査問題を授業の中で活用した	38.5%	51.8%	61.3%

<p>国語・算数の指導について・・・</p> <p>国語：補充的・発展的な指導について課題がある。</p> <p>算数：補充的な学習は大きく改善されたが、発展的な学習については課題がある。</p> <p>実生活における事象と関連を図った指導について課題がある。</p> <p>保護者に対して家庭学習を促す働きかけがさらに必要である。</p>			
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
算数の指導として、少人数による指導（習熟度別）を行っている	84.6%	90.4%	52.0%
国語の指導として、少人数による指導（習熟度別）を行っている	61.5%	75.5%	47.4%
算数の指導として、補充的な学習を行った	92.3%	89.6%	87.8%
国語の指導として、補充的な学習を行った	69.2%	67.4%	69.6%
算数の指導として、発展的な学習を行った	61.5%	51.1%	53.9%
国語の指導として、発展的な学習を行った	53.8%	37.8%	39.1%
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った	76.9%	89.6%	88.7%
国語の指導として、様々な文章を読む習慣をつける授業を行った	100.0%	83.7%	83.0%
算数の指導として、実生活における事象と関連を図った授業を行った	69.2%	63.7%	62.6%
国語・算数の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行った	76.9%	93.7%	94.0%
家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を出している	69.2%	64.5%	72.2%
家庭学習の取組として、学校は、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている	76.9%	80.8%	88.3%

学校運営について・・・「開かれた学校」としての取組に課題がある。研修については充実している。

質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	84.6%	80.0%	78.6%
P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる	77.0%	95.6%	96.9%
ボランティア等による授業サポートを行った	15.4%	51.1%	38.5%
教育活動の情報として、ホームページを開設して情報提供を行っている	30.8%	45.9%	49.8%
地域の人が自由に授業参観できる学校公開日を設けている	38.5%	51.9%	83.8%
授業研究を伴う校内研修を昨年度、7回以上実施した	23.1%	61.4%	65.5%
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	92.3%	94.1%	96.5%

中 学 校

(平成22年4月20日実施 900名参加)

国語に関する分析
数学に関する分析
生徒質問紙の分析
学校質問紙の分析

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 問題数は35問。正答数分布は、全国と同様30問前後を頂点とした右よりのなだらかな山型を描いている。
- ・ 昨年と同様、全国に比べ高位層の割合が低く、中位層・低位層の割合が高い傾向が表れている。
平均正答率（本市 69.6／府 71.7／全国 75.1）

「B区分問題」

- ・ 問題数は10問。正答数分布は、全国と同様8問を頂点としたやや右よりの山型を描いている。
- ・ 昨年と同様、全国に比べ高位層の割合が低く、中位層・低位層の割合が高い傾向が表れている。
平均正答率（本市 55.8／府 60.2／全国 65.3）

2. 学力状況調査より（本市正答率/全国正答率）

国語 A	課題等がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることにやや課題がある。</p> <p>4一 修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直すことができる。 (84.3/90.1)</p> <p>4二 一文を二文に分けて書くことに課題がある。 (35.0/41.4)</p> <p>○伝えるべき内容を整理して書くことができている。</p> <p>9ア と 9イ 案内文に必要な項目の名称を書くことができる。 (82.4/69.8・88.1/93.5)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文脈の中における語句の意味を理解することができる。</p> <p>6二 解説文にある言葉と同じ内容を表す言葉を詩の中から抜き出すことができる。 (82.1/86.3)</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読むことができている。</p> <p>10二1 と 10二2 と 10二3 漢字を読む（物語の冒頭を読む・衝撃を受ける・調べたことから結論を導く）ことができる。 (88.4/92.7・92.7/94.8・93.5/96.3)</p> <p>○単語の類別や働きについて理解し、同じような意味を表すように書き換えることができている。</p> <p>10四1 同じような意味の文になるように適切な一字を書くことができる。 (89.1/93.4)</p> <p>○漢字の成り立ちについて理解することができる。</p> <p>10五A と 10五B 部首の説明として適切なものを選択する（りっしんべん・うかんむり）ことができる。 (85.3/89.4・87.2/92.3)</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。</p> <p>10一1 漢字を書く（先生にソウダンする）ことに課題がある。 (64.7/76.0)</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。</p> <p>10三オ 適切な語句を選択する（兄は困っている人を見るとほうっておけない性分だ）ことに課題がある。 (39.9/48.8)</p> <p>○漢字の楷書と行書との違いを理解することに課題がある。</p> <p>10七 行書の特徴の説明として適切なものを選択することに課題がある。 (38.1/46.7)</p>

国語B	課題等が見られた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明することに課題がある。</p> <p>2三 資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書くことに課題がある。(34.3/45.6)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○文章から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書くことに課題がある。また、資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明することに課題がある。</p> <p>2二 指示する資料に、説明したい内容を簡潔に書くことに課題がある。(65.8/81.8)</p> <p>2三 資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書くことに課題がある。(34.3/45.6)</p> <p>○文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを明確に説明することに課題がある。</p> <p>3三 二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書くことに課題がある。(43.7/62.0)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○文脈の中における語句の意味を的確にとらえることができている。</p> <p>3一B 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択することができる。(82.2/89.2)</p> <p>○書かれている情報を的確に関連づけて読むことに課題がある。</p> <p>1一 トップ記事で紹介している施設が開設された年月を書くことに課題がある。(60.7/74.7)</p> <p>○資料の表現の仕方をとらえることに課題がある。また、文章から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書くことに課題がある。</p> <p>2一 指示する資料に表れている工夫として適切なものを選択することに課題がある。(68.2/78.5)</p> <p>2二 指示する資料に、説明したい内容を簡潔に書くことに課題がある。(65.8/81.8)</p> <p>○表現の仕方に注意して読み、内容について理解することに課題がある。また、文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを明確に説明することに課題がある。</p> <p>3二 本文中の表現がたとえている内容をとらえて書くことに課題がある。(29.8/35.5)</p> <p>3三 二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書くことに課題がある。(43.7/62.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10PO 5P△	差
国語の勉強は好きですか	56.1	57.2 (府 52.1)		1.1
国語の勉強は大切だと思いますか	86.8	89.0 (府 85.2)		2.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	67.0	69.9 (府 66.0)		2.9
読書は好きですか	49.7	68.8 (府 56.9)	○	19.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.6	80.9 (府 72.8)	△	8.3
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	28.9	45.8 (府 29.6)	○	16.9
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	24.2	42.3 (府 27.2)	○	18.1
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	43.8	57.7 (府 44.3)	○	13.9
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	54.1	63.7 (府 54.8)	△	9.6
国語B—1の問題にあるような、長い文章を読むのは難しいですか	65.4	59.3 (府 62.0)	△	6.1
解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	51.6	65.2 (府 58.7)	○	13.6
解答時間は十分でしたか（国語A）	88.8	93.0 (府 91.6)		4.2
解答時間は十分でしたか（国語B）	83.6	84.6 (府 84.4)		1.0

- 学習状況調査の中で、全国との差が著しいものは13項目のうち8項目あり、全国と同様の傾向にあるものは13項目のうち5項目であった。
- 国語の勉強に対する意識は高くなってきている。
 - ・国語の勉強は好きですか・国語の勉強は大切だと思いますか・国語の授業の内容はよく分かりますか
 - ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 読書に対する意識が、全国とは19.1%とかなりの差がある。また、小学生の調査結果（66.7%）とも差があることから、昨年と同様、中学生の読書離れが顕著である。
 - ・読書は好きですか
- 国語の授業において、自分の考えを整理し、筋道を立てて話したり書いたりすることになお課題がある。しかし、今年度はやや改善傾向にある。
 - ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか
 - ・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1	百人一首の上の句に続く下の句を選択する	現代語訳を参考にして古文の内容をとらえる	79.0	78.5	83.6
2	書き手が用いた根拠の不十分さを指摘したのとして適切なものを選択する	述べている内容とその根拠との関係について考える	78.1	79.7	82.6
3一	演説の話し方の特徴として適切なものを選択する	表現の仕方に注意して説得力のある話をする	49.7	50.6	58.9
3二	演説の際、聞き手が重視して聞いているものとして適切なものを選択する	話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る	64.8	69.1	73.9
4一	修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直す	書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする	84.3	87.0	90.1
4二	一文を二文に分けて書く		35.0	36.1	41.4
5一	「ぼく」が悲しくなってきた理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容をとらえ、登場人物の心情について考える	79.8	82.9	84.2
5二	文章の表現の特徴として適切なものを選択する	文章の特徴をとらえる	69.0	71.7	75.7
6一	体言止めを用いている行の番号を詩の中から選択する	表現の仕方に注意し、その効果を考える	63.9	68.4	69.6
6二	解説文にある言葉と同じ内容を表す言葉を詩の中から抜き出す	文脈の中における語句の意味を理解する	82.1	84.4	86.3
7一	提案に対する適切な質問を選択する	目的に沿った話合いになるように、適切に質問する	73.8	78.4	81.7
7二	話合いの中での発言のもつ役割として適切なものを選択する	話合いを効果的に展開させる発言の役割について理解する	72.5	78.2	82.4
8一	「鳥とは違う」カモノハシの特徴を選択する	論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解する	50.8	53.2	56.6
8二	「ひどい文章」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を理解する	68.3	72.5	74.5
9一ア	案内文に必要な項目の名称を書く	伝えるべき内容について整理して書く	82.4	66.1	69.8
9一イ			88.1	90.2	93.5
9二	小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く	相手に応じて表現を工夫して書く	54.3	55.9	60.9

10-1	漢字を書く（先生に <u>ソウダン</u> する）		64.7	70.6	76.0
10-2	漢字を書く（ <u>コウシキ</u> を使って面積を求める）	文脈に即して漢字を正しく書く	68.7	73.5	73.6
10-3	漢字を書く（鏡に <u>スガタ</u> をうつす）		78.1	79.3	82.1
10ニ1	漢字を読む（物語の <u>冒頭</u> を読む）		88.4	90.9	92.7
10ニ2	漢字を読む（ <u>衝撃</u> を受ける）	文脈に即して漢字を正しく読む	92.7	93.5	94.8
10ニ3	漢字を読む（調べたことから結論を導く）		93.5	95.2	96.3
10三ア	同音異義語から適切なものを選択する（物質が変化していく <u>過程</u> を調べる）		79.5	79.8	84.2
10三イ	同訓異字から適切なものを選択する（会議で決を採る）		40.4	40.6	43.2
10三ウ	適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、 <u>ひとえ</u> に母のおかげです）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	59.5	62.0	63.5
10三エ	適切な敬語を選択する（参観日には父が学校へ来ると申しておりました）		42.9	45.7	52.8
10三オ	適切な語句を選択する（兄は困っている人を見るとほうっておけない <u>性分</u> だ）		39.9	44.8	48.8
10四1		単語の類別や働きについて理解し、同じような意味を表すように書き換える	89.1	91.7	93.4
10四2	同じような意味の文になるように適切な一字を書く		75.6	79.4	83.4
10五A	部首の説明として適切なものを選択する（ <u>りっしん</u> べん）	漢字の成り立ちについて理解する	85.3	86.8	89.4
10五B	部首の説明として適切なものを選択する（ <u>うかん</u> むり）		87.2	89.8	92.3
10六	国語辞典で調べたことをもとに、ことわざに込められた思いとして適切なものを選択する	辞書を活用して、ことわざの文脈における意味を理解する	69.7	72.8	75.6
10七	行書の特徴の説明として適切なものを選択する	漢字の楷書と行書との違いを理解する	38.1	38.3	46.7
10八	読みやすい連絡板にするための先生の助言として適切なものを選択する	目的に応じて、文字の大きさや配列・配置に気を付けて書く	65.8	70.4	75.3

設問別調査結果（中学校） [国語B：主として活用]

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1一	トップ記事で紹介している施設が開設された年月を書く	書かれている情報を的確に関連付けて読む	60.7	70.5	74.7
1二	トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する	記事文における表現の仕方をとらえる	43.1	46.4	48.9
1三	新聞を読んで、興味をもった記事について感想を書く	記事文に書かれている内容をもとに、自分の考えを書く	52.4	42.3	51.6
2一	提示する資料に表れている工夫として適切なものを選択する	資料の表現の仕方をとらえる	68.2	73.1	78.5
2二	提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く	文章から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書く	65.8	76.8	81.8
2三	資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く	資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明する	34.3	37.6	45.6
3一-A	前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を的確にとらえる	77.6	82.6	85.3
3一-B			82.2	86.4	89.2
3二	本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く	表現の仕方に注意して読み、内容について理解する	29.8	32.3	35.5
3三	二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く	文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを明確に説明する	43.7	54.4	62.0

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 昨年より全国との差がやや小さくなった。全国と比べ上位層が少なく、下位層が多く分布している。全国同様、上位層の割合が増加した。 平均正答率(本市 59.0/府 62.5/全国 64.6)

「B区分問題」

- ・ 全国と比べ上位層がやや少なく、下位層が多く分布している。全国同様、下位層の割合が増加し、上位層の割合が減少した。 平均正答率(本市 34.6/府 39.5/全国 43.3)

2. 学力状況調査より（本市正答率/全国正答率）

数学A	課題等がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○分数の加法の計算をすることは、概ねできている。</p> <p>1 (1) $1/4 + 2/5$ を計算する。 (82.4 / 84.7)</p> <p>○等式を目的に応じて変形することは、概ねできている。</p> <p>2 (5) 等式 $2x + y = 5$ を、y について解く。 (69.2 / 72.1)</p> <p>○連立方程式をつくって問題を解決するために、着目する必要がある数量を見だし、立式することに課題がある。</p> <p>3 (4) 連立方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す。 (62.2 / 72.1)</p> <p>【図形】</p> <p>○空間図形における長さの関係を見取図からよみとることは、概ねできている。</p> <p>5 (3) 立方体の見取図をよみとり、2つの線分の長さの関係について、正しいものを選ぶ。 (52.3 / 53.6)</p> <p>○命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を指摘することは、概ねできている。</p> <p>7 (1) 事柄「$AO = BO, CO = DO$ ならば $AC = BD$ である。」の仮定をすべて書く。 (73.7 / 75.2)</p> <p>○円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めることに課題がある。</p> <p>5 (4) 円柱の体積を求める式と答えを書く。 (37.2 / 39.9)</p>	<p>○言葉で示された図形の性質や条件を、記号を用いて表すことに課題がある。</p> <p>7 (3) 平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す。 (50.2 / 61.9)</p> <p>○証明の意義について理解していることに課題。</p> <p>8 証明された事柄に新たな条件を付け加えた事柄について、正しい記述を選ぶ。 (38.5 / 48.7)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○樹形図や表などを利用して、場合の数を求めることは、概ねできている。</p> <p>14 (1) 総当たり戦の試合数を求める。 (64.7 / 66.4)</p> <p>○比例のグラフ上にある点の x 座標と y 座標の値の組が、その式を満たしていることを理解することに課題がある。</p> <p>9 (2) $y = -2x$ 上の点を選ぶ。 (36.6 / 40.4)</p> <p>○比例のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求めることに課題がある。</p> <p>9 (3) 比例のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求める。 (38.3 / 45.0)</p> <p>○具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことに課題がある。</p> <p>11 (3) 16cm の長さのひもで作る長方形の縦の長さ と横の長さの関係を式で表す。 (16.7 / 22.9)</p>

数学B	課題等がみられた設問
<p>【数と式】 ○筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することに課題がある。 2 (2) 連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明する。 (22. 3/24. 3)</p> <p>【図形】 ○発展的に考えて証明することに課題がある。 4 (2) 2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する。 (33. 6/46. 3)</p> <p>○事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえることに課題がある。 5 (1) パイプの構造を図形としてとらえ、パイプの端点をつないでできる図形の名前を書く。 (44. 2/57. 8)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 5 (2) 平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く。 (6. 7/9. 4)</p> <p>【数量関係】 ○必要な情報を適切に選択し、処理することは概ねできている。 1 (1) 身体活動量を求める式を用いて、自転車に30分間乗ったときの身体活動量を求める。 (62. 4/72. 7)</p>	<p>○問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 1 (3) 卓球をした場合と同じ身体活動量で、運動の実施時間を半分にできる別の運動を選び、その理由を説明する。 (24. 3/28. 7)</p> <p>○表やグラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することに課題がある。 3 (1) グラフから、2店のTシャツのプリント料金が同じになる座標を選ぶ。 (40. 4/52. 6)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 3 (2) Tシャツ35枚のプリント料金が最も安い店をグラフから判断する方法を説明する。 (23. 1/29. 1)</p> <p>○グラフに表れた変化する数量の特徴を数学的に表現することに課題。 6 (1) L字型の厚紙を引き出すとき、その長さとも面積の関係を表すグラフの特徴を説明する。 (25. 3/38. 4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10P 5P△	差
数学の勉強は好きですか	54.9	53.3 (府49.3)		1.6
数学の勉強は大切だと思いますか	77.1	79.3 (府74.4)		2.2
数学の授業の内容はよく分かりますか	64.7	65.7 (府63.7)		1.0
数学ができるようになりたいと思いますか	91.3	92.2 (府89.8)		0.9
数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	62.7	67.1 (府63.9)		4.4
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	31.1	37.2 (府30.2)	△	6.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	62.1	68.0 (府60.8)	△	5.9
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	60.2	64.9 (府60.0)		4.7
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	62.5	68.1 (府62.5)	△	5.6
数学の授業で問題の解き方や考え方が分るようにノートに書いていますか	74.4	78.2 (府73.3)		3.8
解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか	35.9	45.5 (府41.6)	△	9.6
解答時間は十分でしたか(数学A)	87.0	88.3 (府89.3)		1.3
解答時間は十分でしたか(数学B)	77.5	73.3 (府78.2)		4.2

- 学習状況調査の中で、全国との差が5P以上あるものが、13項目のうち4項目あった。
- 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか
 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか
 解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか
 上記の項目は、全国とやや差があり、課題ではあるが、数学で学習していることが普段の生活で活用でき、社会の様々なところで有用であるということを実感させることは、昨年に比べ改善された。しかし、言葉や式で説明する問題を、最後まで解こうと努力することは課題が大きい。
- 数学の勉強は好きですか

上記の項目は、全国を上まわっていて、昨年と比べかなり改善された。

平成22年度全国学力・学習状況調査

設問別調査結果（中学校）

[数学A：主として知識]

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1(1)	$1/4+2/5$ を計算する	分数の加法の計算をすることができる	82.4	84.1	84.7
1(2)	-10 より大きい負の整数を1つ書く	正の数と負の数にまで拡張した数の範囲で、数の大小関係を理解している	67.2	71.6	74.5
1(3)	150 を基準にして128 を負の数で表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	79.2	83.4	85.5
2(1)	$b \times 5 \times a$ を、文字を用いた式の表し方にしたがって書く	文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことができる	87.3	89.5	90.8
2(2)	$210a$ で表される事象を選ぶ	与えられた文字式を具体的な事象と関連付け、その意味をよみとることができる	69.4	72.3	74.5
2(3)	$x=3$ のときの式 $12/x$ の値を求める	文字に数を代入して式の値を求めることができる	83.0	88.0	90.3
2(4)	2けたの自然数を表す式を選ぶ	数量の関係や法則を文字式で表現することができる	60.9	64.3	65.9
2(5)	等式 $2x+y=5$ を、 y について解く	等式を目的に応じて変形することができる	69.2	70.0	72.1
3(1)	$2x=x+3$ の解について正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	48.4	53.0	55.2
3(2)	$(x+1)/5=2$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	53.1	58.3	58.1
3(3)	連立方程式 $\begin{cases} 3x+2y=9 \\ x+y=4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	72.0	75.5	78.3
3(4)	連立方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	連立方程式をつくって問題を解決するために、着目する必要がある数量を見だし、立式できる	62.2	67.4	72.1
4(1)	線対称な図形の対称軸を選ぶ	線対称な図形の対称軸について理解している	61.0	64.9	68.5
4(2)	垂線の作図の手順を選ぶ	垂線の作図の手順を理解している	80.9	82.1	85.9
5(1)	立体の辺が底面に垂直であるかどうかを調べる方法として、正しいものを選ぶ	直線が平面に垂直であるかどうかを調べる方法を理解している	50.2	54.6	57.1
5(2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体を選ぶ	三角形をその面と垂直な方向に平行に移動させると、三角柱が構成されることを理解して	73.5	78.6	83.0

		いる			
5(3)	立方体の見取図をよみとり、2つの線分の長さの関係について、正しいものを選ぶ	空間図形における長さの関係を見取図からよみとることができる	52.3	54.6	53.6
5(4)	円柱の体積を求める式と答えを書く	円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めることができる	37.2	40.5	39.9
6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれととなり合わない2つの内角の和の関係を理解している	66.2	68.6	69.4
6(2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを 90° に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	66.3	70.7	72.8
7(1)	事柄「 $AO=BO$, $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」の仮定をすべて書く	命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を指摘できる	73.7	71.4	75.2
7(2)	証明で用いられている合同条件を選ぶ	証明をよみ、用いられている直角三角形の合同条件を理解している	49.9	54.4	55.4
7(3)	平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す	言葉で示された図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる	50.2	58.6	61.9
8	証明された事柄に新たな条件を付け加えた事柄について、正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している	38.5	46.2	48.7
9(1)	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表の特徴をとらえて、 x の値に対応する y の値を求めることができる	80.5	84.9	87.8
9(2)	$y=-2x$ 上の点を選ぶ	比例のグラフ上にある点の x 座標と y 座標の値の組が、その式を満たしていることを理解している	36.6	39.7	40.4
9(3)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる	38.3	43.2	45.0
10(1)	$y=3/x$ について、正しい記述を選ぶ	反比例について、比例定数の意味を理解している	47.7	49.3	48.8
10(2)	反比例 $y=12/x$ のグラフを選ぶ	反比例の式とグラフの関係について理解している	56.8	61.0	62.7
11(1)	一次関数の式から変化の割合を求める	$y=ax+b$ について、変化の割合が a の値に等しいことを理解している	48.2	49.6	51.6
11(2)	一次関数のグラフから式を求める	一次関数のグラフから、 x と y の関係を $y=ax+b$ の式で表すことができる	48.2	50.9	55.2
11(3)	16cmの長さのひもで作る長方形の縦の長さとの横の長さの関係を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことができる	16.7	22.0	22.9
12	水槽に水を入れ始めてからの時間と水の量の関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた事象の中にある2つの数量の関係が一次関数であることを判断できる	40.7	45.2	48.9
13	連立二元一次方程式の解を、グラフ上の点から選ぶ	連立二元一次方程式の解が、座標平面上の2直線の交点の座標として求められることを理解している	54.4	55.3	58.7
14(1)	総当たり戦の試合数を求める	樹形図や表などを利用して、場合の数を求めることができる	64.7	66.8	66.4
14(2)	1枚の硬貨を投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	確率の意味について理解している	58.3	60.0	63.7

平成22年度全国学力・学習状況調査

設問別調査結果（中学校） [数学B：主として活用]

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	本市	大阪府	全国
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1(1)	身体活動量を求める式を用いて、自転車に30分間乗ったときの身体活動量を求める	必要な情報を適切に選択し、処理することができる	62.4	69.1	72.7
1(2)	数量の関係を連立二元一次方程式で表し、これを解く	必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現して処理することができる	29.4	35.6	38.6
1(3)	卓球をした場合と同じ身体活動量で、運動の実施時間を半分にできる別の運動を選び、その理由を説明する	問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる	24.3	25.8	28.7
2(1)	予想が成り立たない連続する3つの奇数の例をあげ、その和を求める	予想された事柄を振り返って考えることができる	46.0	50.5	52.4
2(2)	連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明する	筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することができる	22.3	23.0	24.3
2(3)	連続する4つの奇数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、見いだした事柄を説明することができる	48.9	52.5	57.5
3(1)	グラフから、2店のTシャツのプリント料金が同じになる座標を選ぶ	表やグラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができる	40.4	47.2	52.6
3(2)	Tシャツ35枚のプリント料金が最も安い店をグラフから判断する方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	23.1	24.2	29.1
4(1)	証明をよみ、2つの三角形の対応する2辺の間の角が等しいことを表している部分を書く	与えられた証明をよみ、そのしくみを考えることができる	36.7	41.6	47.1
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	発展的に考えて証明することができる	33.6	43.4	46.3
5(1)	パイプの構造を図形としてとらえ、パイプの端点をつないでできる図形の名前を書く	事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえることができる	44.2	53.7	57.8
5(2)	平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く	事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる	6.7	8.3	9.4
6(1)	L字型の厚紙を引き出すとき、その長さや面積の関係を表すグラフの特徴を説明する	グラフに表れた変化する数量の特徴を数学的に表現することができる	25.3	31.6	38.4
6(2)	封筒から引き出した部分の長さや面積の関係を表したグラフから、厚紙の形として、正しいものを選ぶ	数学的な結果を事象に即して解釈することができる	41.6	46.8	51.2

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校生徒質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（63問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（14問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国・府と比較している。

全国、府と比較して、両方に差があるものを別添資料として記載している。下記の表には資料から全国と比較して10P以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては15P以上の差があるものを示している。（*泉佐野市の表中●は正答率と関係がある。）

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	大阪府	泉佐野市 <泉佐野市P/全国P> (府P)
【家庭生活の様子】	<p>毎日朝食を食べている割合は、全国の状況を下回っている。</p> <p>起床・就寝時刻は全国と比べ遅い。</p> <p>準備物の確認をしている生徒の割合は全国の状況を下回っている。</p> <p>携帯電話で通話・メールをする生徒の割合は全国状況を大きく上回っている。</p>	<p>●学校にもっていくものを、前日か、その日に確かめている。 <74.5/84.5> (78.3)</p> <p>○毎日、同じ時刻に寝ている。 <60.5/71.0> (66.3)</p> <p>○自分にはよいところがあると思う。 <51.2/63.1> (55.6)</p> <p>○携帯電話で通話やメールをしている。 <70.9/52.8> (66.4)</p>
【家庭学習の様子】	<p>通塾率は全国の状況を上回っている。</p> <p>授業の宿題や復習をする生徒の割合は全国の状況を下回っている。</p> <p>計画的に家庭学習を行う生徒の割合が全国の状況を下回っている。</p> <p>休日に家庭学習をしない生徒の割合が全国の状況を上回っている。</p> <p>普段、家庭学習に2時間以上取組んでいる生徒の割合と全く取組まない生徒の割合は全国の状況を上回っている。</p>	<p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強している。 <75.1/63.1> (73.0)</p> <p>●家で学校の宿題をしている。 <72.0/84.6> (79.2)</p> <p>●家で学校の授業の復習をしている。 <31.9/43.5> (33.5)</p>

設問内容種別	大阪府	泉佐野市 <泉佐野市P/全国P> (府P)
【学校での学習の様子】	<p>「読書が好きな生徒」や「読書の習慣が身についている生徒」の割合が全国状況を下回っている。</p> <p>国語の授業で、自分の考えを話したり、書いたりしていると回答した生徒の割合は、全国状況をかなり下回っている。</p> <p>数学の学習内容を普段の生活や自分の将来につなげていると答えた生徒の割合は全国状況を下回っている。</p>	<p>●読書は好き。 <49.7/68.8> (56.9)</p> <p>●家や図書館で全く読書をしない。 <57.7/38.1> (51.0)</p> <p>○図書館や図書室へ全く行かない。 <70.2/59.4> (69.5)</p> <p>●好きな授業がある。 <68.0/80.3> (74.9)</p> <p>●学校の規則を守っている。 <78.4/90.1> (86.3)</p> <p>○学級の友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めている。 <53.1/71.4> (61.5)</p> <p>○「総合的な学習の時間」の勉強が好き。 <51.7/64.5> (53.2)</p> <p>○「総合的な学習の時間」で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ。 <54.6/65.8> (54.0)</p> <p>○授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。 <47.0/73.3> (52.8)</p> <p>○授業で生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。 <32.9/55.3> (35.6)</p> <p>●国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。 <28.9/45.8> (29.6)</p> <p>○国語の授業で、意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している。 <24.2/42.3> (27.2)</p> <p>●国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。 <43.7/57.7> (44.3)</p> <p>●国語の文章で答える問題で、最後まで解答を書こうと努力した。 <51.6/65.2> (58.7)</p>

平成22年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校質問紙

回答項目が3項目以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出している。

（例）1. よく行った 2. どちらかといえば、行った を肯定的な回答ととらえた。

学習規律について・・・昨年と状況的には変わっていない。生徒は熱意をもって勉強しているのとらえている反面、授業における規律が守られていない状況も見受けられる。まだまだ課題があるといえる。また、学力との関連も深いと考えられる。			
質問事項	泉佐野市	大阪府	全国
生徒は、熱意をもって勉強していると思う	100.0%	78.9%	84.4%
生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	60.0%	78.2%	90.2%
生徒は、礼儀正しいと思う	60.0%	75.4%	87.0%
学習規律の維持を徹底している	80.0%	90.5%	96.2%
学校や地域であいさつするよう指導している	100.0%	96.6%	98.6%

生活について・・・課題があると考えられる。ただ、本市だけではなく大阪府の課題でもあると考えられる。			
質問事項	泉佐野市	大阪府	全国
第3学年の生徒のうち、就学援助を受けている生徒の割合が10%以上である	100.0%	93.1%	54.9%

学習環境について・・・国語・数学の指導の中で、教員によるコンピュータ活用がなされるようになってきている。 普通教室へのLAN整備の完了後、ICT活用の充実がのぞまれる。			
質問事項	泉佐野市	大阪府	全国
「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている（週に1回以上定期的）	80.0%	57.9%	80.6%
長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施した（延べ5日以上）	80.0%	76.8%	57.6%
国語・数学の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	0.0%	10.9%	15.2%
国語・数学の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、生徒がコンピュータ等を使う学習活動を行っている	0.0%	18.4%	28.6%
国語・数学の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をした	40.0%	39.8%	49.6%

学習状況調査の結果について・・・分析は行っているが、それが授業の中で十分活用されているとはいえない。			
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させた	100.0%	94.5%	91.1%
平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した	80.0%	95.9%	91.5%
平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用した	80.0%	89.8%	81.5%
平成21年度全国学力・学習状況調査の調査問題を平成21年度において、第3学年や他学年の授業の中で活用した	20.0%	46.2%	54.2%
学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成21年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にした	80.0%	84.3%	80.8%

<p>国語・数学の指導について・・・補充的な学習については改善されたが、発展的な学習に課題がある。基礎的な力を付けるための指導は定着してきているが、国語では話す・聞くといった活動、数学では実生活における事象との関連を図るといった点に課題がある。課題は与えているものの、家庭学習の定着に向け、保護者への働きかけや、校内の教職員での共通理解に課題がある。</p> <p>また、調べたことを文章にして書いてくるといった家庭学習の働きかけが必要とされている。</p>			
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
数学の授業において、習熟度別の少人数による指導を行っている	60.0%	67.7%	41.4%
国語・数学の指導として、補充的な学習の指導を行った	90.0%	81.2%	80.6%
国語・数学の指導として、発展的な学習の指導を行った	30.0%	52.0%	54.6%
数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った	100.0%	94.5%	94.8%
国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った	80.0%	97.3%	97.9%
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った	40.0%	69.4%	76.5%

国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った	60.0%	89.8%	84.7%
数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った	40.0%	44.1%	51.6%
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を出している	20.0%	49.7%	56.5%
家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている	60.0%	70.6%	84.1%
国語・数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	100.0%	89.0%	90.4%
国語・数学の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っている	60.0%	77.2%	71.0%
国語・数学の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている	50.0%	72.7%	72.8%

学校経営について・・・地域の人材を講師として招聘するなど、地域との連携については一定改善されている。「開かれた学校」としての取組をさらに進めることが望まれる。また、授業研究を伴う校内研修など、各研修をより充実したものにすることが望まれる。

質 問 事 項	泉佐野市	大阪府	全国
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	60.0%	45.5%	51.0%
ボランティア等による授業サポート（補助）を行った	20.0%	27.2%	18.8%
P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる	100.0%	89.8%	93.5%
学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれる	80.0%	69.4%	57.3%
学校の教育活動の情報について、月に1回以上の頻度でホームページを更新した	60.0%	47.6%	47.1%
保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度に3回以上実施した	80.0%	63.2%	70.6%
地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けている	60.0%	68.9%	81.0%
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている	100.0%	93.2%	82.4%
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている	60.0%	73.5%	83.2%
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的	100.0%	89.8%	90.7%

に参加できるようにしている			
授業研究を伴う校内研修を昨年度、7回以上実施した	40.0%	23.8%	39.9%